



コロナ後手後手 福祉切り捨て

国の悪政から

市民の命と暮らしを守る大津市を



新型コロナ 封じ込めへ

いまこそ 大規模検査を

- 高齢者・福祉施設、医療機関などで定期的検査を
- 民間検査機関との契約数の増、検査機器購入など大規模検査の体制づくりを
- 市内大学や研究機関の協力を得て、変異株の解析を



要望書を提出する党市議員

滋賀県の新規感染者は、2月には人口当たりで大阪府と並ぶほどになりました。変異株ウイルスも発見され、いつ感染が再拡大するかわからない状態です。

党市議員団は、くり返し市に検査の拡大を求め、3月15日、あらためて緊急申し入れを行いました。

生まれおき、日常の中で一人一人が問い直していくことが必要です。杉浦市議は、市幹部の継続的な研修や正規職員の女性比率を高めるなど、具体的に提案し質問。市長はくり返し研修

性急なデジタル化から市民サービス守れ

コロナ危機で明らかになった日本のデジタル化の遅れを理由に、「デジタル関連6法案」が国会に提案されています。個人情報保護の後退や国民監視を強める内容が含まれ、強い権限を持つデジタル庁の下で、大企業などの利益

追求のために国民のデータを徹底的に利用し尽くす、大変危険なものです。また画一化で、自治体独自の取り組みが困難になるおそれもあります。大津市でもデジタル化が加

ジェンダー平等を大津市から

東京五輪大会組織委の前会長・森氏の女性蔑視発言をめぐると問題は、日本社会の構造的な歪みをあぶり出しました。制度上の女性差別解消を進めるとともに、無意識に浸透させられている「女性はいくつあるべき、男性はいくつあるべき」という価値観や役割分担によ



質問する杉浦市議

市長の政治姿勢問う

杉浦市議が代表質問

誰ひとり取り残されない社会へ

新年度はどのような市政を進めるのか、2月通常会議では21年度予算案が審議されました。市内で初めて新型コロナウイルスの陽性者が確認されてから1年。いまだ収束の目途は見えません。かつてない危機の中で、日本共産党市議員団は、市民を守る施策を積極的に提案・追求しました。

速されており、杉浦市議は、先端技術の導入も市民サービスの向上につながるかどうかを指針にすべきだと、市長の政治姿勢を質しました。市長は住民福祉の増進を目的とするとしながら、不断に行革を行い、技術の導入を図ると答弁。大津市独自の福祉施策の後退や、デジタルが活用できない市民の切り捨ては許されません。

を行い、今後議論していくと答えました。この他、コロナ禍の市民・事業者への支援、核兵器禁止条約、まちづくり、少人数学級などについて市長の考えを質しました。

※杉浦市議は他に、国民健康保険、介護保険、市職員給与制度について一般質問しました。

声をあげれば政治は変わる

- 就学援助の新入学学用品費
連続引き上げでようやく国基準に！
小学校・2万460円→5万60円(22年入学)
中学校・2万3,550円→6万円(//)
- 大規模太陽光発電規制
一歩前進！市があっせんへ (裏面に関連記事)
- 「ためらわずに」生活保護活用を
リーフレットやポスターでよびかけ

市民の願いが

実現!!

くり返し議会で取り上げ、市民のみなさんと要望してきたことが少しずつ実現しています。他にも新年度予算案には、学校のトイレ改修や乗り合いタクシーの社会実験の拡充などが盛り込まれました。

一方で、コロナ感染拡大を封じ込める大規模検査への取り組みや、困窮する市民や事業者への直接支援はなく、高すぎる国民健康保険料も据え置きの方です。自治体の責任を果たせと、引き続き求めていきます。

質問 紹介

2021年2月通常会議

市民の声を受けとめ市政へ提案

高齢者の孤独死防ぐ体制を

柏木けい子 市議

党市議団あてに、一人暮らしの高齢者が自宅で亡くなられていたと、助けられなかったつらい気持ちや問題提起がつつられたメールが届きました。コロナ禍で、さらに高齢者の孤立が増す状況になっています。

高齢者が孤独のうちに命をなくすことがないように、地域で高齢者を見守れる体制が必要です。柏木市議は、あんしん長寿相談所の職員を増やすなど、市の取り組みを強めるよう求めました。

市は 増員については検討を進めていくと答えました。

その他の質問項目
新型コロナウイルス感染拡大防止について

どの保育園でも健やかな成長の保障を

たてみち秀彦 市議

市民の声が実り、唐崎・和邇・比良保育園の耐震化工事が行われています。しかし、比良だけ、移転の可能性などを理由に、老朽化による園舎の不具合などの同時改修が行われません。

たてみち市議は、建具の不具合や保育室がエアコンを点けても30℃近くになる状況を示し、改修を求めました。子どもたちの成長を等しく保障するのは市の責任です。一刻も早く実施するよう追求していきます。



市は 時期は明言しませんでした。改修を行うと回答しました。

その他の質問項目
子ども食堂、中小企業支援、防災について

保育室のドアが修理されず、倒れないようにベニヤ板で応急処置されています(比良保育園)

「居住誘導区域」？ 市民不在で決めるな

小島よしお 市議

市は、人口減少を前提にした「立地適正化計画」をこの4月から実施し、今後新たに住む人は「居住誘導区域」に人口集積地とそれ以外に分ける都市計画を進めようとしています。しかし市民の多くは計画自体を知らず、知った市民からは「誘導区域外」はどうなるのかと不安の声が上がっています。

小島市議は、計画に人口増や市民サービス確保の姿勢がないことを指摘し、まちづくりは市民と話し合いを尽くして進めるべきと追及しました。

市は 持続可能なまちづくりを進める計画だと姿勢を変えず、必要に応じて見直しも検討するとの答弁に留まりました。

その他の質問項目
再生可能エネルギー、大規模太陽光発電について

収入申告への適切な相談援助を

林まり 市議

生活保護受給世帯の高校生が就学などのためにアルバイトをする際、申告さえすれば収入として認定されず、控除が受けられます。しかし、届け出が必要と知らずに申告しなかった場合は、不正受給として返還を求められます。

毎年申告もれが起こっており、林市議は、若者の自立心を応援するためにも、高校入学時などにあらためて説明するなど、丁寧なケースワークを求めました。

市は チラシを作成し、該当する家庭に配布するとともに、丁寧な説明をしていくと答弁。

その他の質問項目
困窮者支援、就学援助、財産区について

2月通常会議の議案

大規模太陽光発電の設置について地域住民と事業者間でトラブルが起きた場合、市が「あっせん」を行えるよう条例を改正。実効性があるものへ、引き続き改正を求めます。

市営住宅の連帯保証人に、民間保証機関の利用が可能になりました。

自動運転の実施を可能にする条例改定が行われました。安全性は確立されておらず、党市議団は反対しました。

市民の 願い 否決

内容	日本共産党	新和会 (自民系)	湖誠会 (自民系)	公明党	市民ネット (民主系)	協生会 (民主系)	清正会 (民主系)	立志会 (自民系)
東京五輪の開催の是非についてゼロベースで協議することを求める	○	×	×	×	×	×	○	×
コロナ禍・文化芸術活動への支援の抜本的強化を求める	○	×	×	×	×	×	○	×

○=賛成、×=反対 (他に3件の意見書案が提出されました)

忘れないフクシマ 災害・原発事故から 市民守れ



「原発のない社会へ びわこ集会」のパレードに参加する党市議団 写真提供:滋賀民報社

東日本大震災から10年。復興は道半ばで、原発事故については解決の見通しも立たず、ふるさとに帰れない人は5万人に及びます。党市議団は、フクシマの教訓を胸に刻み、市民の安全を守るために声を上げ続けます。

みなさんと
ともに

日本共産党
大津市会議員団



杉浦とも子

090-4491-1522



たてみち秀彦

090-7105-3648



林まり

090-5045-2490



柏木けい子

090-1919-5298



小島よしお

090-5058-2832